

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

私は、「福祉と住環境」について興味を持っており、その中でも学童保育施設について学びを深めたいと考えています。同志社女子大学の人間生活学科では、「衣・食・住」に限らず、心理や福祉など生活について幅広く学ぶことができ、自分の学びたい分野を深く追求できると感じたため志望しました。

- (2) A O 方式入学者選抜を受けようと思った理由。

私は同志社女子大学が第一志望であり、入学したいという気持ちがとても強かったため、A O 入試に挑戦しました。また、高校生活で力を入れてきた活動や学力以外の強みをアピールできる入試方法であり、自分にあっていると感じたため受験を決意しました。

- (3) A O 方式入学者選抜においてアピールした活動、経歴、資格等。

私は複数のボランティア活動を行っていたため、その経験を通して学んだこと、それをどう活かしたいかをアピールしました。また、第 I 項のため、宗教活動にどのように取りくみ、何を感じたかなど様々なことをアピールしました。大きな経歴や資格を持っていないくても見方をかえることで自分だけの強みになることが多くあると思います。

- (4) 出願書類作成や面接で心がけた点。

〔出願書類作成〕

時間をかけ、自分が納得いくまで何度も書き直しました。国語科と宗教科の先生に添削をしていただきました。課題レポートでは、テーマと自分の学びたいことがつながるよう工夫して書きました。また、志望理由書では、大学分析、自己分析、学問研究を行い、なぜ同志社女子大学でなくてはならないか簡潔に書きました。

〔面接〕

夏休み頃から練習を始め、何度も繰り返し行いました。先生だけでなく友達とも練習を行うことで先生とはちがった視点でのアドバイスをもらうことができました。質問に対する答えを暗記するのではなく、頭の中で組み立てて話すことを心がけました。本番では笑顔でリラックスして行うことが一番大切だと思います。

- (5) 選抜を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

出願書類の作成は想像以上に時間がかかり大変でした。A O 受験を決めた人は志望理由書の作成などできることから前もって取り組むことをおすすめします。行き詰まることもあるかと思いますが、支えてくれる周りの人への感謝を忘れず、最後まで諦めずに頑張ってください。応援しています。